

2013 年度 卒業式 祝辞

学校法人梅村学園理事長 梅村 清英

本日ここに集う中京大学の卒業生の皆さん、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられた保護者、ご家族の皆様方には、心よりお慶び申し上げます。また、学生を指導してこられた教職員の皆さんに深く感謝いたします。

ここから卒業生の皆さんの晴れやかな姿を見ると、胸の内にこみ上げてくるものがあります。なぜなら、私にとって、皆さんは、頼もしい後輩であり、理事長就任後、学園を代表して送り出す最初の卒業生であるからです。

私は中京大学経済学部第一期生です。入学したのは 1987 年で、卒業したのが 1991 年です。ちょうど皆さんの多くがこの世に生を受けた年です。そのころの社会情勢を振り返れば、バブル経済の終焉期でした。

それは一言で言えば、資産価格の上昇と好景気です。象徴的なのは、1989 年 12 月 29 日、日経平均株価が史上最高値の 3 万 8,957 円 44 銭を記録したことです。同期生の多くは名だたる企業に就職しました。

その後、バブル経済は余韻を残しながらも崩壊しました。後輩や教え子たちは、就職に本当に苦労してきました。若者たち、個人個人には何の責任なく、社会全体が宴の清算を迫ることの不条理さを痛感しました。

時を同じくして金融ビッグバンが起きました。当時 13 行あった都市銀行は現在、三大メガバンクを中心とする 4 グループです。IT バブルなど一時的に沸く、景気循環がありながらも、基本的には長期低迷、デフレ経済が続いてきました。

さて、皆さんの多くが中京大学に入学したのは、2010 年です。この年は、米国の金融緩和や経済減速を背景に円高ドル安が急速に進みました。国内製造業の海外移転が進み、雇用が一層悪化しました。

中国が国内総生産（GDP）で日本を抜き、世界第 2 位の経済大国に躍り出ました。ヨーロッパでは財政危機が深刻化して、統一通貨ユーロへの信認を揺るがしました。通貨安競争が激化して、先進国と新興国の対立が先鋭化しました。

2011 年になってもその傾向は変わらず、欧州危機が深刻化した 10 月 31 日には 1 ドル＝75 円 32 銭と戦後最高値を更新しました。日本が東日本大震災という未曾有の被害に苦しむ中で、国際経済が示した冷酷な回答でした。

超円高は常態化し、輸出産業を直撃しました。世界景気の減速と、海外メーカーとの販売競争の激化も加わって、家電メーカーは総崩れとなり、パナソニック、ソニー、シャープの 3 社は 2012 年 3 月期に巨額赤字に陥りました。

2012 年、政権交代により登場した第 2 次安倍晋三政権の「アベノミクス」は、2008 年のリーマンショック以来の景気後退・停滞に局面の転換をもたらしつつあります。4 月の消費増税は景気への悪影響という危険性をはらみながらも、賃金上昇など日本経済全体の

底上げに向けた動きも見られます。

近未来に目を向けましょう。東京が 2020 年夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地に決定しました。五輪開催の経済波及効果は莫大です。スポーツも得意分野とする学園の新たな目標にもなっています。リニア中央新幹線は 2027 年の東京―名古屋開業に向けて新年度にも着工の運びで、中京圏は未来に向けて走り始めました。

ここまで、日本、そして世界を経済という目で眺めてきました。そこには、ヒト・モノ・カネが地球規模で動くグローバリズムの展開があります。皆さんはその中にあって、時代の流れを読み取る力に磨きを掛けてください。数字の内に潜むものを読み取る力もつけましょう。

きのうの東証日経平均株価の終値は 1 万 4,411 円 27 銭でした。円相場は 1 ドル＝101 円台後半でした。先に述べたバブル期の株価や欧州危機後の円高の数字と比較すれば何かが見えてくるはずです。

さて、次に中京大学に目を向けます。新年度は開学 60 周年を迎えます。その記念すべき時に、変化の時代への対応として策定した長期計画「NEXT10」に基づくさまざまなプロジェクトが動き始めます。「中部の私大No.1」を目標に、建学の精神を踏まえて「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」は「自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人を育成」していきます。

建学の精神は創立者・梅村清光先生による「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。校訓は「真剣味」です。その具体化として、初代理事長・梅村清明先生は四大綱「ルールを守る。ベストを尽くす。チームワークをつくる。相手に敬意を持つ」を定めました。あらためて胸に刻み込んでいただければ幸いです。

私は昨年 10 月、第 2 代理事長の梅村清弘先生、第 3 代理事長の小川英次先生の後を継ぎ、第 4 代理事長に就任しました。2023 年の学園創立 100 周年に向けて、伝統を踏まえた中京アイデンティティーの確立に努めていきます。

さあ、いよいよ門出です。皆さんはこれから同窓生の仲間入りです。学園は「愛すべき母校」「誇るべき母校」であり続けます。これからも、ひたむきに走り続けます。皆さんの今後のご健勝、ご活躍を、心より祈念して祝辞とさせていただきます。

ご卒業、本当におめでとうございます。